



防災つじどう

発行 辻堂地区防災協議会

2024年(令和6年)8月

第35号

事務局 辻堂市民センター

TEL 0466-34-8661

巻頭言

会長 小川 雄二郎



今年は梅雨も短く、暑い毎日が続いています。7月21日の世界の平均気温は17.15度で観測史上最高だったそうです(朝日7月25日)。ちなみにこれまでの最高気温は昨年7月6日の17.08度です。また今年上半期の日本近海の海面水温も18.44度で1982年観測開始以来観測史上最も高かったそうです(朝日7月15日)。

さらに世界の自然災害の発生数でも20世紀最後の20年間で21世紀初めの20年間を比較しても、気象災害のみが顕著に増加しています。洪水の発生数は2.1倍、異常気温の発生数は2.6倍です(世界の災害と最近の特徴、小川、東京消防令和3年1月号)。

私たちの気象災害に対する備えも、今までの基準では不十分で、より高く設定し直す時期に来ています。

辻堂地区防災協議会 役員一覧(令和6年度)

会長 小川 雄二郎(辻堂東海岸3丁目町内会)

会計 石井 正治(ライオンズテラス本鶴沼ガーデンコート自治会)

副会長 有賀 正義(辻堂東海岸3丁目町内会)

監査 吉田 秀樹(辻堂仲町町内会)

〃 國弘 宏祐(辻堂南海岸町内会)

アドバイザー 加藤 照之(桜花園自治会)

〃 吉田 隼人(消防第10分団長)

〃 福田 正三(東町町内会)

幹事 19人(自治会町内会名 略)

吉田 淳基、相澤 康幸、石井 哲、池野 優幸、星名 良一、大村 勝敏、松木 武美、山本 真由美、星野 幸夫、松原 和憲、玉野 奈美恵、大川 和夫、黒岩 正喜、吉沢 繁延、有馬 公治、岩崎 利夫、山田 浩永、西島 靖之、青木 大

自治会町内会の皆様へ 大切な人を災害から守るために ～個別避難計画の作成にご協力ください～

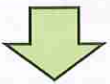
令和6年度の取組

個別避難計画担当者会議 年間スケジュール

9月初旬 第1回担当者会議
個別避難計画 説明会



12月頃 第2回担当者会議
中間報告会



2月頃 第3回担当者会議
今期のふりかえり
来期の取り組みについて

令和3年に災害対策基本法が改正され、自然災害時における高齢者や身体障がい者等の避難行動要支援者に対して、「個別避難計画」を作成することが市町村に義務付けられました。これを受けて、辻堂地区では藤沢市との協議を経て、共助の取り組みとして作成を開始しました。

令和5年度は辻堂地区が藤沢市からモデル地区に指定され、他の地区に先駆けてこの計画を試行し、辻堂地区内のモデル町内会で試験的な取組を行い、手法の確立や課題の確認を行ったところです。

令和6年度はこの結果をふまえ、辻堂地区防災協議会では、関係団体と連携し辻堂地区内の全自治会町内会に呼びかけて「個別避難計画担当者会議」を開催し、個別避難計画の作成を進めていくこととしています。

自治会町内会の皆様、ご協力をお願いします。

(記 加藤 照之)



令和6年度 定期総会

2024年(令和6年)5月9日(木) 辻堂市民センターにて定期総会が開催され、令和5年度の事業報告、決算報告、監査報告を行い、承認されました。

引き続き、令和6年度の事業計画(案)、予算(案)を提案し、原案の通り承認されました。

(記 國弘 宏祐)



もしもに備え、津波避難ビルを知っておこう ～津波避難体験～

2024年(令和6年)5月26日(日)の津波避難体験に246名が参加しました。海岸にいる時に地震で津波が発生したことを想定して、海岸から津波避難ビルに避難する体験訓練です。

ゴミゼロクリーンキャンペーンの活動の後に、東西2会場の海岸から出発し、東会場はグランシティ湘南海岸Ⅱの5階の通路へ、西会場は辻堂市民センターの屋上を目指して避難しました。両会場とも牽引補助具を取り付けた車イスを3人がかりでサポートし、砂浜や階段の移動の難しさを体験しました。また避難ビルの階段ではレスキューシートに人を乗せて、4人がかりで持ち上げるなど、実際の避難の難しさを体験し、貴重な経験となりました。

日本ライフセービング協会には津波フラッグを集合場所と引率の目印にしたり、車イスのサポートのご協力を頂き、大変感謝いたします。(記 松木 武美)

グランシティ湘南海岸Ⅱにて →



未来を担う子どもたちへ防災教育 ～第7期チームレスキュー活動報告(前編)～

チームレスキューは、辻堂青少年会館が主催する小学3年生から中学生を対象とした防災教育です。今年度は12名が参加しており、本協議会が全面協力しています。

プログラムは体験学習を中心に全7回で構成され、災害発生時に自分の命は自分で守るための対応力を身につけることを目的としています。第1回(5/25)は本協議会の小川会長が「身近にある災害」をテーマに子どもたちと話し合いました。第2回(6/22)は神奈川県総合防災センターで震度7の地震、風速30mの強風、煙の中の避難など、災害の怖さを体験しました。また、帰りのバスの中では本協議会の吉沢幹事から東日本大震災で奇跡的に全員無事に避難できた浪江町立請戸(うけど)小学校の避難の様子を紙芝居で紹介しました。子どもたちが真剣に聞き入る様子が印象的でした。今期も12月の修了式まで子どもたちと一緒に頑張ります。(記 吉田 秀樹)

実施回	実施内容
第1回	「身近にある災害」をテーマに話し合い
第2回	神奈川県総合防災センターで災害体験
第3回	南消防署辻堂出張所・辻堂市民センター防災施設見学
第4回	防災の視点から辻堂を歩き防災地図を作成 辻堂青少年会館で避難所生活宿泊体験
第5回	辻堂地区総合防災訓練に向けての事前勉強会
第6回	辻堂地区総合防災訓練で家具転倒防止を参加者に説明
第7回	修了式



↑ 神奈川県総合防災センターでの震度体験

新たに29人の防災リーダーが誕生！ ～辻堂地区防災リーダー講習会～

自主防災組織の強化・活性化に向けて、組織の中核となる防災リーダー育成の講習会を2024年(令和6年)7月7日に辻堂市民センターで実施しました。昨年度までは全3日間にわたって実施していた講習会を、より多くの自治会・町内会からの参加を図るために、1日に集約したところ昨年度の約2倍となる29名の方々に参加いただけました。

午前には、心肺蘇生法、AED体験の救急救命講習会、午後には、本協議会小川会長による「防災の基礎」、藤沢市防災安全部防災政策課日原氏から「自助、共助、公助」「発災時の避難フロー」「ハザードマップ」など藤沢市発行「ふじさわ防災ナビ」の活用方法について解説いただきました。さらに消火器、発電機の取り扱い訓練を行いました。

参加された方からは、『自治会・町内会への展開を図りたい』『大変有意義だった』との声をいただきました。

今後も自治会・町内会の防災活動を強化できるような講習会を続けてまいりますので、ご協力をお願いいたします。(記 星名 良一)



↑ 消火器の取り扱い訓練

第31回辻堂地区

総合防災訓練のお知らせ

日時:2024年(令和6年)

11月24日(日)

午前10時～12時頃

会場:浜見小学校

我々の身の回りには地震、津波、洪水、大規模火災など多くの災害が潜んでいます。

日頃から防災に関心を持ち、防災意識の高揚を図るために総合防災訓練を行います。

普段は体験できない訓練が多数ありますので、この機会に是非参加しましょう。

(記 松木 武美)